

科目名	キャリア実践 講義 ～自分の社会人スキルを試してみよう！～		
科目番号	A-16	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎市出島交流会館・佐世保青少年の天地	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年10月14日(土)～11月11日(土) (1泊2日の合宿型) ※別に事前・事後講義有り	曜日	土、日曜日
		時限	下記の通り
開講時間	下記の通り	授業定員	50人
		履修年次	1年生・2年生・3年生
実習費等	有り	選考方法	
その他特記事項	事前講義・事後講義については出島交流会館の講義室で行う予定です。必ず全日程に出席してください。	試験・評価方法	レポートと授業中のワークなどへの参加程度を評価します

開講日	講義名	担当教員
1 担当教員		
長崎大学キャリア支援センター 矢野香助教、企業経営者・人事担当者等		
2 日程		
10月14日(土)	【事前講義】 10:00～17:20 場所:出島交流会館(長崎市)	
	・講義① オリエンテーション・課題解決型学習とは？	
	・講義② 社会で求められる人材とは？	
	・講義③ 企業紹介・企業の事例研究	
	・講義④ 企業経営者 講演	
10月28日(土)	【合宿研修】 場所:長崎県立佐世保青少年の天地	
	10:00 チャーターバスにて長崎大学文教キャンパス出発	
	11:30 波佐見町 到着 ～昼食休憩～	
	12:30 ・講義⑤ 企業視察 ※企業担当者より案内していただく	
	・講義⑥ 企業視察 ※企業担当者より案内していただく	
	15:30 ・講義⑦ 現地視察 ※地域おこしメンバー・Iターン者等と交流	
	・講義⑧ 現地視察 ※地域おこしメンバー・Iターン者等と交流	
	17:00 県立佐世保青少年の天地へ移動	
	18:00 到着、夕食、自由時間など	
	22:00 就寝	
10月29日(日)	9:00 ・講義⑨ グループ演習(屋外レクリエーション)	
	・講義⑩ グループ演習 (企業から出された課題に対し、解決するための企画を作成)	
	12:10 昼食休憩	
	13:10 ・講義⑪ グループ演習 (企業から出された課題に対し、解決するための企画を作成)	
	15:30 県立佐世保青少年の天地 チャーターバスにて出発	
	17:00 長崎大学文教キャンパス到着 解散	
11月11日(土)	【事後講義】 10:00～17:20 場所:出島交流会館(長崎市)	
	・講義⑫ 企画プレゼンテーション	
	・講義⑬ 企画プレゼンテーション	
	・講義⑭ 企画プレゼンテーション	
	・講義⑮ 審査・総括 ※企業担当者も審査に参加	

連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073
-----	--

(科目内容) この授業は、企業や地域が提供する課題に、学生がチームを作り協力しながら取り組む課題解決型学習(PBL)です。今回は長崎県波佐見町の事例を取り上げます。伝統ある陶磁器の街で過疎化が問題となっていたものの、近年世界中の若者に注目されている町、波佐見町。その舞台裏で、地域と協力しながら課題に取り組んでいる県内企業(ソリューション事業・ホテル事業など)の実際の事例を、経営者や担当者の話・現地視察を通して学びながら、リアルな課題として取り組む実践的な内容です。この講義の目的は、社会に出てから必要とされる「分析力」「課題解決力」「チームで働く力」そして「プレゼンテーション力」を主体的に身に付けることです。また、合宿生活の中で学生同士の交流を深めることでコミュニケーション力も養われます。

教員のコメント

「社会とは何か」「働くとは何か」を体験的に学びます。いま「HASAMI」に世界中から観光客が訪れているのは、注目されるための仕掛けが行われたからこそです。地域と企業とが地域活性化のためにやってきた事例を実際に現地に出向き学びながら、連携企業の経営者や担当者からリアルなご指導をいただくことのできるまたとない機会です。また地元にてIターンした方や地域おこしをなさっている方などと交流することで、それぞれの生き方をキャリアモデルとして考えてみてください。実際の「仕事」に近い活動を経験することで、自分の特性や能力を見つめなおし、これからの自分のキャリアを考えるヒントにしましょう。



科目名	「グローバルリーダー育成基礎講座」～基盤となる力とその育成～		
科目番号	A-7	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学・出島交流会館・日吉自然の家	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年5月13日(土)～ ～平成29年8月26日(土)	曜日	土、日曜日
		時限	下記のとおり
開講時間	下記のとおり	授業定員	40人(うち単位互換定員 40人)
		履修年次	1年生以上
実習費等	有り	選考方法	書類選考
その他特記事項	大学等の団体、サークル等で企画、運営に当たっている学生。GP企画運営委員は可能な限り受講のこと。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
1 担当教員 長崎大学 池田 浩教授、長崎大学 松島大輔教授、長崎大学 矢野 香助教等		
2 日程		
(1)合宿研修 5月13日(土)～14日(日) 出島交流会館、日吉自然の家		
	① 講義: グローカル社会を生きる基盤となる力について	池田
	② 講義: グローカル人・リーダーとは(基盤となる力)～県内企業担当者等とともに	池田
	③ 講義: グローカルリーダーについて	松島
	④ 講義: 企画運営会議①～プレゼン大会企画書をもとに～	池田
	⑤ 講義: 企画運営会議②～グローバル人材育成のための企画立案～	池田
	⑥ 講義: 企画運営会議③～企画発表・検討会～	池田
(2)基盤要素育成活動の実践 6月～8月		
	⑦ 講義: プレゼンテーション大会開催に向けて(企画、運営方法等立案)	池田・矢野
	⑧ 講義: プレゼンテーション大会開催に向けて(企画、運営方法等立案)	池田・矢野
	⑨ 講義: プレゼンテーション大会予選会運営～課題等から～	池田・矢野
	⑩ 講義: プレゼンテーション大会予選会運営～課題等から～	池田・矢野
	⑪ 講義: プレゼンテーション大会本選運営～成果と課題から～	池田・矢野
	⑫ 講義: プレゼンテーション大会本選運営～成果と課題から～	池田・矢野
	⑬ 講義: 基盤要素育成活動の実践(各大学等) 成果等の振り返り	池田
(3)事後講義 8月26日(土) 出島交流会館		
	⑭ 講義: グローカルリーダーに求められる力～県内企業担当者とともに～	池田
	⑮ 講義: 活動報告及び活動の振り返り。自己評価	池田
連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL095-819-2075 FAX095-819-2073	
(科目内容) この授業の目的は、地域における課題をグローバルな視点で考え行動できる人材を育成するために、その基盤となる「違いを認め受け入れる異文化理解・適応能力」や「留学生、他大学学生とともに共修事業を企画・運営する力」等を実践的に高めることです。海外でのビジネスを展開されている県内企業の方や県内大学間で共同実施しているグローバル人材育成プログラム関係者等との意見交換、また共修事業の一環として開催されているプレゼンテーション大会の企画・運営に関わることでグローバルリーダーとしての基礎となる力を育成します。		

学生の感想・
教員のコメント等


グローバル社会は多文化社会です。言語、生活習慣、文化、宗教等、異文化を受容し、共に協働する力を身に付けていくことは、国内・国外を問わず次代を生きる人として身に付けておかなければならない資質・能力といえます。急激に変化していく社会をグローバルな視点で捉え、地域で生じる様々な課題解決のために一歩前へ踏み出す力、実践を通してつながり合う力を身につけることが必要とされます。本講座ではその基礎となる力や人をつなげるためのリーダー性を実践を通して育成したいと考えています。



科目名	プレゼンテーション力 養成講座		
科目番号	A-8	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学・出島交流会館	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年 6月11日(日)~7月9日(日) 集中講義型	曜日	日曜日
		時限	下記の通り
開講時間	下記の通り	授業定員	50人
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	プレゼンテーション大会出場者は、下記日程に加え7/1(土)開催の予選会も時間を調整してください。詳しくは下記連絡先にお問い合わせください。	試験・評価方法	講義内のプレゼン実習・レポート授業の参加程度を評価します


開講日	講義名	担当教員
1 担当教員 長崎大学キャリア支援センター 矢野 香 助教		
2 日程		
6月11日(日) 10:00~17:20	場所:出島交流会館 ・オリエンテーション ・講義① プレゼンテーションとは? プレゼンテーションの歴史、スピーチとプレゼンテーションの違い など ・講義② 社会でプレゼンテーション力が求められている背景 ・講義③ 社会人基礎力としてのプレゼンテーション ・講義④ プレゼンテーション実践	
6月18日(日) 10:00~17:20	場所:長崎大学 教養教育講義棟 A-11,12講義室 ・講義⑤ 言語スキルと非言語スキル ・講義⑥ 言語スキルトレーニング~話の組み立て方・言葉遣い ・講義⑦ 「上手い」といわれるプレゼンテーションをするコツ ・講義⑧ プレゼンテーション実践	
6月25日(日) 10:00~17:20	場所:長崎大学 教養教育講義棟 A-11,12講義室 ・講義⑨ 論理的に相手を説得する技法 ・講義⑩ 非言語スキルトレーニング~表情・ジェスチャートレーニング ・講義⑪ ボイストレーニング ・講義⑫ プレゼンテーション実践	
7月9日(日) 13:00~17:20	場所:長崎大学 スカイホール ・講義⑬ プレゼンテーション大会 ・講義⑭ プレゼンテーション大会 ※プレゼンテーション大会にプレゼンターとして出場、または見学。見学者はプレゼンターの審査を行います。 ・講義⑮ 総括	

連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073
<p>(科目内容) プレゼンテーションについて集中講義による授業を行います。この授業の目的は、学生時代はもちろん、社会に出てからも必須の力であるプレゼンテーション力を身につけることです。ゼミでの口頭発表や就職面接など自分の考えを伝える場面で、自らの将来を切り開くための自己表現力を学びます。①話す内容としてのキャリア分析②プレゼンテーションスキルトレーニング③プレゼンテーション大会への参加または見学・審査などの学習活動を通じて、自分のキャリアを形成していくために必要な実践的なプレゼンテーション力の習得をめざします。プレゼンテーション時の言語は日本語、英語から選択してもらいます。</p>	

受講生のコメント	<p>・難しいと思っていたプレゼンテーションは、決して難しい技術ではないということがわかった。 ・プレゼンテーションの方法を学び、表情をコントロールできるようになり、話す内容に起承転結をつけられるようになった。 ・堂々としたレベルの高いプレゼンターの発表を聞くことができ、感動した。 ・他の学生の夢や目標を聞き、その楽しそうな様子を見て、すごく元気が湧いてきて、自分も負けない、頑張ろうという気持ちになった。</p>
	


科目名	在宅ケア概論 I		
科目番号	A-12	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年10月5日(木)～ ～平成29年10月27日(金)	曜日	木曜日・金曜日
		時限	5時限目
開講時間	16時30分～18時00分 (90分)	授業定員	80人 (うち単位互換定員 80人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」のホームページに掲載しているWEB講座を事前に視聴してから授業に臨むこと	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 10月5日	オリエンテーション・在宅療養支援概論	中嶋 幹郎 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
② 10月6日	在宅療養支援における医師の役割	天本 俊太 (長崎県医師会)
③ 10月12日	在宅療養支援における長崎在宅Dr.ネットの役割	山口 雅治 (認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット)
④ 10月13日	在宅療養支援における介護支援専門員の役割 I	大町 いづみ (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
⑤ 10月19日	在宅療養支援における看護職の役割	未定 (長崎県看護協会)
⑥ 10月20日	在宅療養支援における薬剤師の役割 I	手嶋 無限 (アイビー薬局)
⑦ 10月26日	在宅療養支援における歯科医師の役割	介出 主 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
⑧ 10月27日	在宅療養支援における地域包括支援センターの役割	松本 雄一郎 (長崎市地域包括支援センター連絡協議会)
連絡先	長崎大学薬学部(在宅医療・福祉コンソーシアム長崎担当) TEL:095-819-2416	
(科目内容) 【在宅ケア概論 I】は、平成28年度までの文部科学省の補助事業「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」と「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」により、長崎県内の国公立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が中心となって大学・地域連携で開発した授業科目である。在宅療養における医療・福祉支援の実際について理解を深められる構成であり、実際に在宅医療・福祉の現場で活躍中の先生方を講師陣として招聘し、臨場感あふれる講義を展開できるよう計画している。		

学生の感想・ 教員のコメント等	<p>学生の感想・ 教員のコメント等</p> <p><受講生の感想>(一部抜粋) (※以下、昨年まで開講していた「在宅ケア概論」の受講生の感想です)</p> <p>患者を病院だけで診るのではなく、在宅介護サービス、老人ホーム、薬局、家族などと連携を取りながら、地域全体で患者を診ることが在宅医療の向上につながると思います。講義を聞いて、将来在宅に関わる仕事に就きたいと思うようになりました。(薬学生)</p> <p>今回のお話で在宅のメリット・デメリットを踏まえたうえで、患者さんの意思、家族の状況、医療の状況などを考え、患者さんの希望を満たせるように家族を支えられる在宅医療が必要だと思った。また、患者さんの希望に気づける医療人になりたいと思った。(薬学生)</p> <p>職種それぞれに工夫が必要で、多くのことを考えながら連携した仕事をしなければならぬと改めて感じた。(聴講生)</p>	
--------------------	---	--

科目名	在宅ケア概論Ⅱ		
科目番号	A-18	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年11月2日(木)～ ～平成29年12月7日(木)	曜日	木曜日・金曜日
		時限	5時限目
開講時間	16時30分～18時00分(90分)	授業定員	80人(うち単位互換定員 80人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」のホームページに掲載しているWEB講座を事前に視聴してから授業に臨むこと	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 11月2日	地域における多職種協働	松坂 誠應 (長崎リハビリテーション病院)
② 11月9日	在宅療養支援における訪問リハビリの役割 ～理学療法士～	本田 憲一 (長崎県理学療法士協会)
③ 11月10日	在宅療養支援における訪問リハビリの役割 ～作業療法士・言語聴覚士～	黒木 一誠 (長崎県作業療法士会) 戸澤 明美 (長崎県言語聴覚士会)
④ 11月16日	在宅療養支援における薬剤師の役割Ⅱ	手嶋 無限 (アイビー薬局)
⑤ 11月24日	在宅療養支援における介護支援専門員の役割Ⅱ	大町 由里 (長崎県介護支援専門員連絡協議会)
⑥ 11月30日	在宅療養支援における管理栄養士の役割	古川 美和 (長崎県栄養士会)
⑦ 12月1日	在宅療養支援における歯科衛生士の役割	猪野 恵美 (長崎県歯科衛生士会)
⑧ 12月7日	在宅療養支援における介護専門職の役割	堀部 和貴 (長崎県介護福祉士会)
連絡先	長崎大学薬学部(在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 担当) TEL:095-819-2416	
<p>(科目内容)【在宅ケア概論Ⅱ】は、平成28年度までの文部科学省の補助事業「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」と「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」により、長崎県内の国公立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が中心となって大学・地域連携で開発した授業科目である。在宅療養における医療・福祉支援の実際について理解を深められる構成であり、実際に在宅医療・福祉の現場で活躍中の先生方を講師陣として招聘し、臨場感あふれる講義を展開できるよう計画している。</p>		

学生の感想・ 教員のコメント等	<p>学生の感想・ 教員のコメント等</p> <p><受講生の感想>(一部抜粋) (※以下、昨年まで開講していた「在宅ケア概論」の受講生の感想です)</p> <p>高齢者になると噛む力、飲み込む力が低下してきますが、食を通してより良い栄養状態やQOLを維持・向上できると思います。また、ユニバーサルデザインフードの開発によって食介護の負担が減ったり、食べることの楽しみを支援しやすくなったと思います。(薬学生)</p> <p>在宅ケアだけでなく、地域の活動の場に参加できるよう、支援することも、より良い生活を送るためには重要なことだと思いました。(薬学生)</p> <p>少ない限られた時間の訪問リハで効果を上げるには関係職種や家族の協力なしには実現できないことを学びました。(聴講生)</p>	
--------------------	---	--

科目名	在宅医療・福祉早期体験学習		
科目番号	A-9	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎大学薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年8月23日(水) ～平成29年8月25日(金)	曜日	開講期間のとおり
		時限	下記の通り
開講時間	下記の通り	授業定員	30人(うち単位互換定員 30人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	交通費	選考方法	書類選考
その他特記事項	「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」のホームページに掲載しているWEB講座を事前に視聴してから授業に臨むこと	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
8月23日	【オリエンテーション・体験学習】 9:30 長崎大学薬学部集合 オリエンテーション・ミニレクチャー 11:30 昼食 13:00 地域包括支援センターでの体験学習 17:00 現地解散	
8月24日	【体験学習】 9:00 現地集合 訪問看護ステーション、薬局、診療所、歯科診療所での体験学習 17:00 現地解散	
8月25日	【学習報告会】 9:50 長崎大学薬学部集合 10:00 グループワーク 12:00 昼食 13:00 グループワーク発表準備 14:00 学習報告会 15:30 まとめ 16:00 解散	
連絡先	長崎大学薬学部(在宅医療・福祉コンソーシアム長崎担当) TEL:095-819-2416	
<p>(科目内容)【在宅医療・福祉早期体験学習】は、平成28年度までの文部科学省の補助事業「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」と「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」により、長崎県内の国公私立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が中心となって大学・地域連携で開発した授業科目である。大学・学部間の垣根を越えて、地域の訪問看護ステーション、薬局、診療所、歯科診療所の施設担当者とともに在宅療養者宅への同行を行うことを通し、在宅療養支援の実際を知ることで多職種協働によるチームアプローチの重要性を考えてもらうことを目的とする。</p>		

学生の感想・
教員のコメント等

<教員のコメント>(※右は、昨年の多職種連携早期体験学習の写真です)
昨年まで開講していた「多職種連携早期体験実習及び「がん医療・緩和ケア実習」を統合させ、今年度新たにリニューアルした実習です。


<受講生の感想>(一部抜粋)
(※以下、昨年まで開講していた「多職種連携」早期体験実習及び「がん医療・緩和ケア実習」の受講生の感想です)
在宅療養支援を必要としている人に対して多職種で連携・協働して問題解決をはかることの重要性はとて大きく、患者中心で進めることがより良い状態にすることだと考える。(看護学生)
体験する前と体験した後では考え方も変わり多くの良い知識を学べました。在宅療養支援、多職種連携は大変重要でこれから活発化されていくべきだと思います。信頼関係や情報提供・連携など難しい部分もありますが理解し取り組んでいる社会になってほしいと感じました。(薬学生)



科目名	長崎ブレークスループプロジェクト(長崎グローバル人財育成講座①)		
科目番号	A-6	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎出島交流会館(5/21) 長崎大学中部講堂(7/9)	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年5月21日(日) 平成29年7月9日(日)	曜日	日曜日
		時限	下記の通り
開講時間	2日	授業定員	100人
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	定員を超えた場合は、レポートにより選考
その他特記事項	後期開催科目「長崎グローバル人財育成講座②」と連続して受講すること。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価


開講日	講義名	担当教員
5月21日	グローバル人財とは何か～出口戦略としてのグローバル人財 (長崎ブレークスループプロジェクト説明) グローバルイノベーション・ケーススタディ (長崎グローバル企業によるプレゼンテーション) 課題解決に向けた仮説構築に関するグループワーク	松島大輔 長崎大学教授 渡辺誠治 活水女子大学准教授 その他 長崎県下の企業から
7月9日	課題解決に向けた仮説構築及びプレゼンテーション作成(グループワーク) プレゼンテーション発表会 総括～省察と評価方法について及び将来への展望	講師を招へい

連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073
<p>(科目内容) 長崎で学ぶ日本人学生、留学生に対し、長崎起業論、新規ビジネスに向けた仮説構築など、将来の「出口戦略」を提供する。具体的な長崎企業から海外事業の課題に得て、グループに分かれ課題を発見、解決に向けた仮説を構築する究極のアクティブラーニングである。</p> <p>前期は、長崎企業から自らの起業に向けたアイデアを吸収するとともに、長崎の潜在性を企業との議論を通じて実践的に学ぶ。長崎企業の海外展開の可能性について仮説に基づきプレゼンテーションを行うことにより、実践的な社会人力をはぐくみ、「出口戦略」を見出すことができる。</p>	

<p>教員のコメント</p> <p>長崎企業、特にグローバルに第二創業を目指す企業の具体的なビジネスの中に入って活躍できる、稀有な経験が得られます。また奨学金を獲得した学生には、海外での留学チャンスも期待できますので、将来、相手国・地域の課題を、長崎ならではのじげもん技術・ノウハウで解決するという、グローバルに活躍したいと真剣に想う学生、大歓迎です。</p>	
--	--

科目名	長崎ブレイクスループロジェクト(長崎グローバル人財育成講座②)		
科目番号	A-17	開設大学名	長崎大学
開講場所	長崎出島交流会館(10/22) 場所未定(長崎市内)(3/4)	教養・専門の別	教養
		単位数	1単位
開講期間	平成29年10月22日(日) 平成30年3月4日(日)	曜日	日曜日
		時限	下記の通り
開講時間	2日	授業定員	100人
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	定員を超えた場合は、レポートにより選考
その他特記事項	前期開催科目「長崎グローバル人財育成講座①」と連続して受講すること。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
10月22日	長崎グローバル企業における海外展開の事例と海外の可能性 海外事情分析 学生によるプレゼンとそれに対する応答	松島大輔 長崎大学教授 渡辺誠治 活水女子大学准教授
3月4日	海外留学・インターンシップ経験者による海外における事業展開事例の発表 ピアレビュー・付加価値化及びプレゼンテーション作成(グループワーク) プレゼンテーション発表会 総括～省察と評価方法について及び将来への展望	その他 長崎県下の企業から 講師を招へい
連絡先	長崎大学 学生支援部教育支援課教育支援班 TEL 095-819-2075 FAX 095-819-2073	
<p>(科目内容) 長崎で学ぶ日本人学生、留学生に対し、長崎企業の具体的な海外展開に対し、案件形成に向けた知の技法の習得など、今後グローバルに飛翔する学生諸君の社会人を涵養し、将来の「出口戦略」を提供する。具体的な長崎企業から海外事業の課題に対し、グループに分かれ解決に向けた仮説を検証し、事業化する究極のアクティブラーニングである。</p> <p>後期は、具体的な長崎企業の海外展開に寄り添いながら事業展開を模索することを通じて、将来に向けた具体的な問題意識を先鋭化させるとともに、その実現に向けた内外のネットワークを手にするという「出口戦略」の確立が期待される。</p>		

<p>教員のコメント</p> <p>長崎企業、特にグローバルに第二創業を目指す企業の具体的なビジネスの中に入って活躍できる、稀有な経験が得られます。また奨学金を獲得した学生には、海外での留学チャンスも期待できますので、将来、相手国・地域の課題を、長崎ならではのじげもん技術・ノウハウで解決するという、グローバルに活躍したいと真剣に想う学生、大歓迎です。</p>	
--	--

科目名	目指せ！プロフェッショナル～visionを持って自らキャリアデザインを描いてみよう～ season 4		
科目番号	A-4	開設大学名	長崎大学・長崎純心大学
開講場所	長崎大学 薬学部	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年4月12日(水)～ ～平成29年7月26日(水)	曜日	水曜日
		時限	5時限目(通常より20分遅くスタート)
開講時間	16時30分～18時00分(90分) 「毎週水曜日」	授業定員	40人(うち単位互換定員40人)
		履修年次	1年生以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	講師の都合により、講義の順番・講義名は変更されることがあります。	試験・評価方法	出席+授業最後の10分間アンケートによる総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 4月12日	生きる技術を身につけて磨くためのプロローグ	永田 康浩 (長崎大学 地域包括ケア教育センター長)
② 4月19日	『医療の変革に求められるホスピタリティ』□ ～信頼される接遇マナーのポイント～	田中 美吉子 (インターナショナル エア アカデミー長崎校長)
③ 4月26日	精神保健福祉士から研究者へ	吉本 知江子 (長崎純心大学 地域包括支援学科 講師)
④ 5月10日	キャリアとは変化とともに (仮)	谷口 美和 (若者自立支援長崎ネットワーク キャリアコンサルタント)
⑤ 5月17日	キャリアデザインを描く～薬剤師編～	手嶋 無限 (長崎大学在宅医療・福祉コンソーシアム長崎事務局 准教授)
⑥ 5月24日	あなたが拓くこれから ～看護職としての出会いから～	大町 いづみ (長崎大学 保健学専攻 看護学講座 准教授)
⑦ 5月31日	「文化の時代のCSV経営の実践」～企業活動と地域活性化への取り組み～	船橋 修一 (九州教員株式会社 代表取締役社長)
⑧ 6月7日	「それでも、なお」でキャリアを積みむ□～公衆衛生行政で働く医師より～(仮)	長谷川 麻衣子 (長崎県 県南保健所 所長)
⑨ 6月14日	女子も男子もスマイルライフ！	浜田 久之 (長崎大学病院 医療教育開発センター長)
⑩ 6月21日	イノベーションをカタチにする ～刑務所から社会へ～	伊豆丸剛史 (長崎県地域生活定着支援センター 所長)
⑪ 6月28日	キャリアデザインを描く～歯科医師編～(仮)	五月女 さき子 (長崎大学病院周術期口腔管理センター 講師)
⑫ 7月5日	キャリアデザインを描く～社会の変化を踏まえて～(仮)	池田 浩 (長崎大学 地域教育連携・支援センター 教授)
⑬ 7月12日	人間関係に困らないコミュニケーション講座	安永 誠太郎 (JMS日本経営サポート協会 代表)
⑭ 7月19日	子どもに関わる仕事の魅力	田中 珠美 (長崎純心大学 人文学部児童保育学科 助教)
⑮ 7月26日	総合討論ーエピソードー	永田 康浩 (長崎大学 地域包括ケア教育センター長)

連絡先 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 地域包括ケア教育センター TEL:095-819-7046 FAX:095-819-7048

(科目内容) 長崎大学と長崎純心大学が連携し開講する授業科目ですが、それ以外の大学からの参加もあります。今、長崎あるいは国内の最前線で活躍する多分野のエキスパートや先輩方に講師を依頼し、今後みなさんが幅広い分野で活躍できるよう、キャリアデザインを描くうえで参考になるテーマについて授業を行います。講義だけではなく、実際にキャリアプランを立てる実習もあります。多様な社会や生き方に出会い、視野を広げ、自らのVision・キャリアデザインについて考える良い機会にしてください。多くの方のご参加をお待ちしております。

学生の感想・
教員のコメント等

・ここで学んできたことは、今の生活はもちろん、社会に出てからも役に立つものばかりだった。人とうまくやっていくための関係の築き方など実生活でも意識することは多くあった。今後に活かしていきたいです。(総合経済学科)

・医学科・教養科目の授業だけではお会いすることのない個性豊かな講師陣の話が聞けたし、更に長大の他学部を初め、純心大学など普段接することのない他分野を専攻する学生達と、グループワークを通して考えを交わすことができ、良い経験になったと思う。(医学科)

・プロフェッショナルは遠い存在だと思っていましたが、一人ひとりが自分のやっていることや仕事に誇りを持っていたり、誰か認めてくれる人があるのなら、それはプロフェッショナルなのかもしれないと思いました。私もプロフェッショナルを目指したいと思いました。(現代福祉学科)



科目名	新長崎学・序論		
科目番号	A-11	開設大学名	長崎外国語大学
開講場所	長崎外国語大学	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成 29年 9月25日(月)～ ～平成 30年 2月 9日(金)	曜日	水曜日
		時限	6時限目
開講時間	18時 10分～19時 40分 (90分) 「毎週 水曜日」	授業定員	90人 (うち単位互換定員 90人)
		履修年次	なし
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	なし	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 9月27日	新「長崎学」研究センター設置を目指して	溝田 勉 <small>統括副学長・国際コミュニケーション学科 特任教授</small>
② 10月4日	長崎奉行物語	本田 貞勝 <small>長崎外国語大学 客員教授</small>
③ 10月11日	長崎発、国際協力・社会貢献の取組み	小島居 伸介 <small>統括副学長・国際コミュニケーション学科 教授</small>
④ 10月18日	未知なる外国語への挑戦	松岡 雄太 <small>国際コミュニケーション学科 准教授</small>
⑤ 10月25日	色眼鏡長崎文学案内	加島 巧 <small>現代英語学科 教授</small>
⑥ 11月1日	ドイツから見たく長崎>	坂本 彩希絵 <small>国際コミュニケーション学科 講師</small>
⑦ 11月8日	日本における日仏交流	富田 高嗣 <small>国際コミュニケーション学科 教授</small>
⑧ 11月15日	長崎原爆と永井隆	小西 哲郎 <small>国際コミュニケーション学科 教授</small>
⑨ 11月22日	黄檗宗について	MARRA Claudia <small>国際コミュニケーション学科 教授</small>
⑩ 11月29日	地誌と縁起と長崎	松本 真輔 <small>国際コミュニケーション学科 准教授</small>
⑪ 12月6日	長崎の華人・華僑	土居 智典 <small>国際コミュニケーション学科 准教授</small>
⑫ 12月20日	海から見た古代の長崎	木本 雅康 <small>国際コミュニケーション学科 教授</small>
⑬ 1月10日	映画の「長崎」	山川 欣也 <small>現代英語学科 教授</small>
⑭ 1月17日	過去10年を振り返る	石川 昭仁 <small>学長、現代英語学科 教授</small>
⑮ 1月24日	長崎外国語大学の「建学の精神」と長崎学	姫野 順一 <small>現代英語学科 特任教授</small>

連絡先	
(科目内容)	<p>従来の長崎学は、郷土史家による長崎地域の故事来歴を集積する傾向があります。しかし、当地域のこれからを考えると、観光、平和・文化・環境等のいずれの分野においても異文化間コミュニケーション能力を生かした国際協同への取り組みが求められる。</p> <p>自治体とも連携したプログラム展開にどんな専門性を付与するか、長崎研究ブランドづくりの視点を種々考えます。</p>

学生の感想・
教員のコメント等

何か新しい切り口による、立体的な長崎の構築を目指して、各教員の専門分野からアプローチしたいと考えています。
受講者の皆さんと「長崎」のことを考える機会にしましょう。



科目名	長崎を知る～異文化交流を通して～		
科目番号	A-2	開設大学名	活水女子大学
開講場所	活水女子大学 東山手キャンパス 及び長崎近郊	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年4月11日(火) ～平成29年6月6日(火)	曜日	毎週火曜日、5月27日(土)、5月28日(日)
		時限	毎週火曜日:6時限
開講時間	18時00分～19時30分(90分)「毎週火曜日」 ※5月27日(土)～5月28日(日)(終日)	授業定員	30人
		履修年次	1年次以上
実習費等	有り	選考方法	書類選考
その他特記事項	(1泊2日の合宿型) ※別に事前・事後講義有り	試験・評価方法	授業への積極的参加度及び レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
-----	-----	------

- 1 担当教員
活水女子大学国際交流委員 上野葉子
- 2 日程
4月18日、25日、5月9日、16日、23日
上記、5回でオリエンテーション、企画作成、実施準備
- 校外学習
5月27日 午前 集合
体験学習
グループワーク
5月28日 午後 解散
- 6月6日 振り返り & 評価

連絡先	活水女子大学 教務課 TEL 095-820-6016 FAX 095-820-6063
-----	--

(科目内容)
 本学の短期留学生に長崎の文化や歴史について知ってもらうことを目的としたプログラムを企画し、学外で実施する交流活動に共に参加してプログラムを実行してもらいます。
 日本を訪れた外国人に長崎の歴史や文化遺産について伝えるための具体的な方策をグループワークを通して企画し、それを実際に留学生との交流の場で実践することは、受講生にとって地元長崎について学び直すよい機会となるでしょう。

教員のコメント

近年、長崎にもたくさんの外国の人が訪れるようになりました。この科目では、まず、地元長崎の魅力について調べます。そして、どのようにしたらそれを外国から来た学生さんに興味をもって体験してもらえるかを考え、プランを作って実行します。プログラムを実行する中で、外国から来た学生と交流し、異なった文化についても知ることができると思います。皆さんの意欲的な取り組みに期待しています。



科目名	すべての人への健康支援を考える		
-----	-----------------	--	--

科目番号	A-3	開設大学名	長崎県立大学シーボルト校
開講場所	長崎県立大学シーボルト校 講義室	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年 4月 12日(水)～ ～平成29年 7月 26日(水)	曜日	水曜日
		時限	6時限目
開講時間	18時00分～19時30分 (90分) 「毎週 水曜日」	授業定員	なし
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	講義日程は変更する場合があります。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 4月12日	これからの健康支援:国の政策や地域での支援事業の現状と今後の見通し	平野 かよ子 (看護学科 教授)
② 4月19日	思春期・青年期の健康問題の特徴と健康支援	久佐賀 眞理 (看護学科 教授)
③ 4月26日	自殺の問題と対策:長崎県の現状を踏まえて	濱田 由香里 (看護学科 講師)
④ 5月10日	労働者の健康支援:働く人の心と身体への支援	竹口 和江 (看護学科 助教)
⑤ 5月17日	災害時の健康支援	片穂野 邦子 (看護学科 講師)
⑥ 5月24日	在日外国人の母子保健	李 節子 (看護学科 教授)
		新田 祥子 (看護学科 講師)
⑦ 5月31日	精神障害を持つ人への健康支援	堂下 陽子 (看護学科 講師)
⑧ 6月7日	子どもの成長発達に応じた健康問題と健康支援	林田 りか (看護学科 准教授)
⑨ 6月14日	老年期の健康問題の特徴と健康支援	山口 多恵 (看護学科 講師)
⑩ 6月21日	介護者への健康支援	木村 チヅル (看護学科 講師)
⑪ 6月28日	生活習慣と健康:子どもから高齢者まで	山谷 麻由美 (看護学科 講師)
⑫ 7月5日	健康におけるワーキングメモリー	大塚 一徳 (看護学科 教授)
⑬ 7月12日	慢性疾患を持つ人への健康支援;内部障害を中心に	吉田 恵理子 (看護学科 准教授)
⑭ 7月19日	身近な感染症とその予防	永峯 卓哉 (看護学科 准教授)
⑮ 7月26日	健康支援の専門家として看護職に求められること	山澄 直美 (看護学科 准教授)

連絡先	
-----	--

(科目内容)
看護は、あらゆる場や状況で、あらゆる年代の個人および家族、集団、コミュニティを対象とする。本科目は、そのような、あらゆる場や状況におけるすべての人への健康支援について、現状と今後の見通しを含めて考える科目である。通常のカリキュラムにある科目の中では学ぶことが少ない内容や最近の話題、受講する学生に関連の深い内容を中心に広く構成した。なお、がん看護や緩和ケア、在宅ケアなどについては、NICEキャンパス長崎内の他の科目があるため、今回の内容からは除外した。

学生の感想・ 教員のコメント等

<p>国の政策や地域包括ケアシステムなど、大きな視点からの健康支援や自殺やストレスチェックなどのメンタルヘルス、産業保健関連の内容、子どもから思春期・青年期、高齢期、労働者、介護者、在日外国人などに対する健康支援など、看護学科の講師陣が幅広い分野から専門的な内容、最新の話題、研究成果などを交えた授業を行います。健康支援の専門家として看護職を目指す人にとって、有意義な時間になると思いますので、ぜひ受講をしてください。</p>	<p>参 考 写 真 等</p>
---	------------------

在宅医療概論	在宅医療概論		
--------	---------------	--	--

科目番号	A-5	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	長崎国際大学	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年 5月13日(土)～ ～平成29年 6月10日(土)	曜日	土曜日
		時限	1時限目・2時限目・3時限目
開講時間	下記の通り 「毎週土曜日」	授業定員	240人 (うち単位互換定員240人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項		試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 5月13日	在宅医療に係わる多くの専門職と専門職連携の重要性	大磯 茂 (長崎国際大学薬学部)
② 5月13日	在宅医療における薬局薬剤師の役割	徳永 修 (あんず薬局)
③ 5月13日	在宅医療における医師の役割	太田 一寿 (長崎国際大学薬学部)
④ 5月20日	在宅医療における歯科医師の役割	疊屋 文人 (佐世保市歯科医師会)
⑤ 5月20日	在宅医療における看護師の役割	越智 幸代 (佐世保市医師会訪問看護ステーション)
⑥ 5月20日	在宅医療における薬剤師の役割	七嶋 和孝 (ななし薬局)
⑦ 5月27日	在宅医療における管理栄養士の役割	林 俊介 (長崎国際大学健康管理学部)
⑧ 5月27日	在宅医療における地域包括支援センターの役割	長塚 弘章 (相浦地域包括支援センター)
⑨ 5月27日	在宅医療における地域医療連携室の役割	永田 敬博 (佐世保共済病院)
⑩ 6月3日	在宅医療における調剤と薬の知識	仮屋 博子 (長崎国際大学薬学部)
⑪ 6月3日	在宅医療における緩和ケアの知識	山田 勝士 (長崎国際大学薬学部)
⑫ 6月3日	在宅医療における行政のサポート	藤田 利枝 (長崎県県央保健所)
⑬ 6月10日	在宅医療におけるヘルスカウンセリング	本 康剛 (佐世保中央病院)
⑭ 6月10日	在宅医療におけるPT,OT,STの役割	井手 伸二 (長崎リハビリテーション病院)
⑮ 6月10日	在宅医療におけるケアマネージャーの役割	鷲峯 志保 (まつお内科医院)

連絡先 長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020

(科目内容) 本講座は、長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、自治体、保健・医療・福祉系の職能団体とNPO法人が連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が開講する。講座の目的は、将来、在宅がん医療や緩和ケアを多職種協働で実践できるよう専門職の人材育成である。
【在宅医療概論】では、在宅医療に必要な基礎知識を学ぶとともに、連携する専門職種との役割と情報の共有について理解を深めるため各分野の専門家を招いたオムニバス形式で開講する科目である。

学生の感想・
教員のコメント等

【受講生の感想】
 高齢化社会が進むとこれからの日本社会がどうなっていくのかということや、医療を考える際に医療従事者がどれだけ重要になってくるかを学ぶことができました。(薬学生)
 これから日本は高齢化社会がより進んでいき、若者が減っていく中で自分の専門職としての役割を考えることが出来る講義となりました。(薬学生)
 在宅医療の必要性について改めて知ることができ、また、新しい知識も得ることができました。(社会福祉学生)
 在宅医療の目的、現状、これから何が必要なのかがよくわかりました。特に家族のQOL向上も目的としているということが印象に残りました。患者さんだけでなく家族の人たちとの交流も大切にしていこうと思いました。(薬学生)



科目名	在宅緩和ケア概論		
科目番号	A-13	開設大学名	長崎県立大学シーボルト校
開講場所	長崎県立大学シーボルト校E110	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年10月11日(水) ～平成30年1月31日(水)	曜日	水曜日
		時限	6時限目
開講時間	18時00分～19時30分(90分) 「毎週水曜日」	授業定員	60人(うち単位互換定員60人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項		試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 10月11日	オリエンテーション・在宅緩和ケアの現状と課題	吉原 律子 (元長崎県立大学看護栄養学部)
② 10月18日	在宅緩和ケアとがん診療	山之内 孝彰 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
③ 10月25日	ホスピス・緩和ケア	益富 美津代 (聖フランシスコ病院ホスピス病棟) (認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット) (ホーム・ホスピス中尾クリニック)
④ 11月1日	在宅療養における医師の役割	中尾 勘一郎
⑤ 11月8日	在宅医療における情報通信技術の活用	前村 葉子 (長崎県立大学情報システム学部)
⑥ 11月15日	在宅療養における管理栄養士の役割	古川 美和 (長崎市医師会診療所)
⑦ 11月22日	在宅療養と行政の役割	藤田 理恵 (長崎県県央保健所)
⑧ 11月29日	在宅療養とリハビリテーション	松坂 誠應 (長崎リハビリテーション病院)
⑨ 12月6日	在宅療養における歯科医師の役割	介田 圭 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
⑩ 12月13日	在宅療養における薬剤師の役割	手嶋 無限 (アイビー薬局)
⑪ 12月20日	在宅療養(ケア)と介護福祉士の役割	堀部 和貴 (ケアプランセンターやまぼうし)
⑫ 1月10日	在宅ケアのマネジメント	志岐 美津子 (恵珠苑 居宅介護支援事業所)
⑬ 1月17日	在宅医療における地域医療連携の実際	川崎 浩二 (長崎大病院地域医療連携センター)
⑭ 1月24日	在宅療養における看護師の役割	吉原 律子 (元長崎県立大学看護栄養学部)
⑮ 1月31日	在宅ケアにおける死生観	内村 公義 (NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ)

連絡先 長崎県立大学シーボルト校 総務企画課企画グループ TEL:095-813-5500

【在宅緩和ケア概論】は、平成28年度まで、長崎県立大学、長崎大学、長崎国際大学と自治体、保健・医療・福祉系の職能団体が連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の科目を継続するものである。
がん医療や緩和ケアに関する基礎知識、患者および家族が療養生活を送るにあたり必要となるケアと各専門職の役割、多職種連携の実際や情報を共有するための方法について、医療機関や在宅医療・在宅ケアの現場で活躍する医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士等の専門職が講師となりオムニバスで展開する。

学生の感想・教員のコメント等

<教員のコメント>
がんの罹患率が増加する中、緩和ケアの必要性が求められています。これを機会に自分のこととして、医療従事者として緩和ケアと在宅ケアについて学んでみませんか

<受講生の感想> (一部抜粋)
緩和ケアはあきらめじゃない！患者のQOLを大きく上げることもあるという言葉にとても心をうたれた。緩和ケアはその人らしく生きていくことを助けるということを改めて感じた。また、患者さんを一人にしない、できる限りサポートするという姿勢やコミュニケーション、距離の取り方の大切さがよくわかった。緩和ケアは治療だけではなく、患者の思い、遺族のケアがとても大切で、看護師としてはその思いをくみとり治療に携わっていかなければならないと思った。(看護学生)
栄養士も在宅ケアの様々な場面で患者さんの生活に合わせた栄養指導をして、患者さんが元気になるようなサポートができるとわかった。高校生の時に新聞記事で在宅栄養士の事を知り関心を持った。私自身、食べることが大好きで、食べることにはとても大きな力があると思っている。人の食生活と健康を、その人や家族の立場にたってしっかりとサポートできるような管理栄養士になりたいと思った。(栄養学生)



科目名	長崎県北の歴史と文化－西海学Ⅰ		
科目番号	A-1	開設大学名	長崎県立大学 佐世保校
開講場所	長崎県立大学 佐世保校	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成29年4月7日(金)～ ～平成29年7月21日(金)	曜日	金曜日
		時限	3時限目
開講時間	13時00分～14時30分(90分) 「毎週金曜日」	授業定員	100人(うち単位互換定員 20人)
		履修年次	3年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	テキスト:山田千香子・吉居秀樹編著『平戸・西海学－長崎県北の歴史と文化』桜蘭舎	試験・評価方法	レポート及び出席その他授業への取組による

開講日	講義名	担当教員
① 4月7日	はじめに :科目趣旨および全体講義概要について	吉居 秀樹 長崎県立大学佐世保校 地域政策学科教授
② 4月14日	北松地方の人類活動の始まりー洞窟遺跡を中心として(旧石器～	川内野 篤 佐世保市教育委員会 社会教育課教育文化係
③ 4月21日	倭国から大和朝廷に至る時代の北松地方(弥生～古墳)	北島 聖美 平戸市教育委員会 文化遺産課文化遺産班
④ 4月28日	五島列島の海外交流史(平安～室町)	塚原 博 元小値賀町教育委員会 小値賀町歴史民俗資料館
⑤ 5月12日	元寇と鷹島海底遺跡(平安～鎌倉)	中田 敦之 松浦市教育委員会 生涯学習課
⑥ 5月19日	北松地方の城郭(弥生～江戸)	久村 貞男 元佐世保市教育委員会社会教育課
⑦ 5月26日	平戸と中国貿易(戦国～現代)	岡山 芳治 財団法人 松浦史料博物館
⑧ 6月2日	南蛮貿易とキリシタン(戦国～現代)	中園 成生 平戸市生月町博物館 島の館
⑨ 6月9日	西海捕鯨業(江戸)	中園 成生 平戸市生月町博物館 島の館
⑩ 6月16日	平戸松浦氏と平戸藩の成立(江戸)	木田 昌宏 財団法人 松浦史料博物館
⑪ 6月23日	長崎県北の文化遺産と平戸藩主(江戸)	久家 孝史 財団法人 松浦史料博物館
⑫ 6月30日	平戸和蘭商館(江戸)	萩原 博文 平戸市教育委員会 文化遺産課
⑬ 7月7日	平戸藩と中国貿易(江戸)	浦部 知之 平戸市振興公社 平戸城
⑭ 7月14日	県北窯業史(平戸、三川内、波佐見)(江戸)	中野 雄二 波佐見町教育委員会 文化財保護係
⑮ 7月21日	終わりに(講師によるパネルディスカッションおよび質疑応答)	

連絡先 長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-46

(科目内容) 本講義では本学が設置されている「長崎県」をテーマとして、西海という海上を舞台とした視点から歴史や文化、文化交流、文化遺産について体系的に考えていく。西海学Ⅰにおいては、とくに平戸を中心とした長崎県北の歴史と文化に焦点をあてる。歴史区分設定は古代から近世までとしている。長崎県北の歴史や文化、文化遺産について理解を深めること。とくに「海」を中心として展開されてきた歴史や文化であることや、その背景となる「西海圏」の広がりに気づき、東アジアを含めて全体的に俯瞰できることを目標としている。本地域在住の研究者(12名)によるオムニバス形式の講義である。

学生の感想・
教員のコメント等

学生A:
地域をつくることには、まず第一に地域を知ることから始めなくてはならないことを実感した。地域計画といっても、何も無い土地に建物を作ったり、制度を導入するわけではない。まず、先にその土地の自然環境があり、人があり、そして人々の生活がある。地域によって異なる条件をもつものだから、そのうえに行われる政策も異なるはずだ。そのため、学術調査は不可欠のものであり研究者の必要性を感じた。

学生B:
グローバル化の進展とともに、地域特性はつぶされてきた。日本では全国総合開発計画が一律の基準を地域に押し付けてきた。それによって崩壊しつつあるアイデンティティをまちづくりで復活させなくてはいけない。地域の歴史や文化が人を創ってきたアイデンティティの源である。必要不可欠なものなのだ。学術調査によって裏打ちされた地域学を踏まえてまちづくりを行っていくことが必要であると感じた。



科目名	長崎県北の歴史と文化－西海学Ⅱ		
科目番号	A-15	開設大学名	長崎県立大学 佐世保校
開講場所	長崎県立大学 佐世保校	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成29年10月6日(金)～ ～平成30年2月2日(金)	曜日	金曜日
		時限	3時限目
開講時間	13時00分～14時30分 (90分) 「毎週金曜日」	授業定員	100人 (うち単位互換定員 20人)
		履修年次	3年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	テキスト:山田千香子・吉居秀樹編著『平戸・西海学Ⅱ－佐世保の近代化』桜蘭舎	試験・評価方法	レポート及び出席その他授業への取組による

開講日	講義名	担当教員
① 10月6日	はじめに :科目趣旨および全体講義概要について	吉居 秀樹 <small>長崎県立大学佐世保校 地域政策学科教授</small>
② 10月13日	自然環境について(1)地勢史	川内野 善治
③ 10月20日	自然環境について(2)動・植物	川内野 善治
④ 10月27日	自然環境について(3)水生動物	川久保 晶博 <small>西海国立公園九十九島水族館</small>
⑤ 11月10日	長崎県北の近代前(相浦・早岐・江迎地区を中心として)	久村 貞男 <small>元佐世保市教育委員会社会教育課</small>
⑥ 11月17日	佐世保の近代－都市の形成(明治・大正・昭和・軍港として)	祖谷 敏行
⑦ 11月24日	佐世保の近代－都市以降(終戦から現代:軍港・米軍)	篠崎 正人 <small>リムピース佐世保編集部</small>
⑧ 12月1日	佐世保の近代－都市的整備事業	川内野 篤 <small>佐世保市教育委員会 社会教育課教育文化係</small>
⑨ 12月8日	未定	未定
⑩ 12月15日	長崎県北の産業－造船(佐世保工場・SSK)	橋口 孝三郎
⑪ 12月22日	長崎県北の産業－商業(市街地形成)	田代 明 <small>社会福祉法人 むすび会</small>
⑫ 1月5日	長崎県北の産業－水産業(近代捕鯨、遠洋巻網、以西底引き等)	中園 成生 <small>平戸市生月町博物館 島の館</small>
⑬ 1月19日	長崎県北の産業－観光の歴史(再開国立公園から現在まで)	蓮田 尚 <small>佐世保市教育委員会</small>
⑭ 1月26日	地方史を学ぶことの意義	小川 照郷 <small>ライフ企画社</small>
⑮ 2月2日	終わりに(講師によるパネルディスカッションおよび質疑応答)	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-46	
(科目内容) 西海学Ⅱにおいては、西海学Ⅰの内容を踏まえて、長崎県北の近代から現代までに焦点をあて、とくに佐世保を中心とした自然環境、そこで育まれてきた歴史と文化に焦点をあてる。長崎県北の歴史や文化、文化遺産について理解を深めること。とくに西海学Ⅱでは長崎県北の「近代」の発展の歴史、その発展を支えてきた背景について全体的に把握できること。近代から現代までを「西海圏」のなかで改めてとらえ直し、東アジアにおける現在の位置づけだけではなく、長崎県北の未来に向けての課題について考察できることを目標としている。本地域在住の研究者(12名)によるオムニバス形式の講義である。		

学生の感想・
教員のコメント等

学生C:
この講義は、地域を多角的にみることの重要性を痛感する科目であった。私が西海学Ⅰ・Ⅱを受講した大きな理由は、入学当初に思い描いていた「長崎県立大学」で学ぶ意義を自分なりに探していたからである。あえて大学4年という時期にこの講義を取ったことは、私にとって大きな知的財産となったと感じている。この講義を学んだことで地域政策学科で学んできたことの総復習となり、この大学・学科を選んだことへの意義付けを自分なりに再確認できたと思う。

学生D:
この西海学Ⅱの授業は、それぞれ分野の違う地域の方による専門分野の講義であった。このような機会があるというのは本当に貴重であり、地域政策学科だからこそその講義であると思う。佐世保という地域を知り尽くした方々による講義であるので、より詳しく、自分自身が観てきたものをしっかりと伝えて下さったので、現実味があつたし、佐世保の良さや問題点も見えてきて、この講義を通して佐世保の地域性について多くのことを学ぶことができた。



科目名	くすり最前線 -最新医療から薬物問題まで-		
科目番号	A-10	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	アルカスSASEBO 3階会議室	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成29年9月22日(金)～ ～平成30年1月19日(金)	曜日	金曜日
		時限	6時限目
開講時間	19時00分～20時30分(90分) 「毎週 金曜日」	授業定員	90人
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	11月3日(金)・12月15日(金)・29日(金)を除く	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 9月22日	がん —抗癌剤治療の進歩と現状—	小川由起子 微生物薬品学
② 9月29日	がん —プレジジョンメディスン:オーダーメイド医療が現実のもの—	和田守正 分子生物学
③ 10月6日	エイズ —AIDSは完治できるのか—	深澤昌史 ウイルス学
④ 10月13日	自己免疫性疾患 —免疫システムの反乱—	岸原健二 免疫学
⑤ 10月20日	薬剤耐性菌 —くすりが効かない恐怖—	黒川健児 細胞生物薬学
⑥ 10月27日	寄生虫にまつわるエトセトラ —今、なぜ寄生虫が注目される?—	小林秀光 微生物学
⑦ 11月10日	放射線って怖いですか? —放射線災害と医療被曝について—	高井伸彦 薬品分析化学
⑧ 11月17日	エコノミークラス症候群 —血液検査でわかる血栓症体質—	隈博幸 臨床検査学
⑨ 11月24日	ヒト常在菌のパワー —美と健康を保つヒトと共棲する菌—	榊原隆三 生化学
⑩ 12月1日	「トクホ」って何だろう? —特定保健用食品と医薬品の違い—	長岡寛明 衛生化学
⑪ 12月8日	香りの化学 —においがもたらす影響について—	佐藤博 環境毒性学
⑫ 12月22日	天然物からの創薬 —新薬開発への挑戦—	宇都拓洋 薬品資源学
⑬ 1月5日	痛い痛い飛んで行け! —「熱冷まし・痛み止め」の効く仕組み—	山口拓 薬物治療学
⑭ 1月12日	薬物乱用の危険性 —危険ドラッグの何が危険なのか?—	山本経之 薬理学
⑮ 1月19日	スポーツファーマシスト —薬剤師のアンチ・ドーピング活動—	仮屋菌博子 医療薬学

連絡先	長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020
<p>(科目内容) 現代産業における医薬関連分野の進歩は、情報技術(IT)関連分野と並んで著しいものがある。かつての”不治の病”も、その多くが克服されようとしている。最新の医療にとって欠かせない道具として医薬品がある。「医薬品」とは厚生省から承認された治療薬、診断薬及び予防薬に他ならない。それでは、「薬物」という言葉はどうだろう。「～依存」や「～汚染」、麻薬・覚醒剤、ドーピング等、負のイメージを想起することも少なくない。一般社会においては、有益な治療薬も有害な覚醒剤も「くすり」と呼ばれることが多い。本講義では、このような「くすり」に機能食品や医薬部外品等も加え、人の健康にまつわる最新情報について分かり易く解説する。これらの情報をもとに、受講生は自らの健康について強く意識すると共に、医療に関する社会問題等について深く考察することができる。</p>	

学生の感想・
教員のコメント等

本講義は、くすりの最新情報について、薬学部の専任教員が分かり易く講義します。薬学に興味のある方は是非受講してみてください。



科目名	☆RESAS地域経済分析システムで地方創生「Wantカード」を活用したまちづくり～□		
科目番号	A-19	開設大学名	長崎ウエスレヤン大学
開講場所	諫早市	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成 29年 10月 14日(土)～ ～平成 29年 11月 25日(土)	曜日	土曜日 (他の曜日も一部あり)
		時限	時限目
開講時間	時 分～ 時 分 (分) 「毎週 曜日」	授業定員	20人 (うち単位互換定員 人)
		履修年次	1年生以上
実習費等	有り	選考方法	
その他特記事項	(県外研修・街角実践ワークあり) ※別に事前講座講義有り	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
①	<p style="text-align: center;"><開講 10月～11月 10:00～16:00 ></p> <p>①「RESAS」地域創生セミナー 10月14日(土) 会場/長崎ウエスレヤン大学 分析システムの学習・政策提言ワークなど客観的・数字的根拠に基づき、人の流れ市民の声など地域の特性や可能性を見出す。</p> <p>②先進遊学セミナー 10月中 県外先進地へ出向き、政策提言やRESASの活用方法・分析などを学ぶ</p> <p>③街頭実践&ワーク 10月28日(土) 諫早市内 実際に街頭に出て市民の声の収集・分析(wantカードによるワーク)</p> <p>④ワークショップ(実践発表) 11月23日(祭) 10:00～12:00 諫早青年会議所主催でのグループ発表 会場/諫早市「文化会館」</p> <p>⑤その他、事前準備のために必要な個人・グループ実践ワークの自主的開催</p>	<p>長崎ウエスレヤン大学 社会福祉学科 (地域連携推進センター) 岩永秀徳</p>
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

連絡先	長崎ウエスレヤン大学 教育企画課 0957-26-8274
<p>(科目内容)</p> <p>地域経済分析システム(RESAS:リーサス)は、地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するために、まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。</p> <p>このRESAS(リーサス)を活用し、諫早市青年会議所と連携し、自分のまちをより良くするための「Wantカード」で諫早市民の声を集約・データ化し、様々なビッグデータと比較・分析することにより「笑顔溢れる魅力あるまちづくり」に向け提言できるようRESAの実践ワークを通し、産学官協働の市民参画型で進めていきます。</p>	

学生の感想・
教員のコメント等

RESASには国の機関が様々な人口や産業別、地域別にあらゆる産業のデータがビッグデータとして集積されており、比較・分析が可能になっています。

この授業では、欧米で話題となっている「Want」カードで市民の意見を集約し、RESASから関連するデータと分析することで、新たな地域創生としての施策提言やソーシャル・アクションに繋がっています。

ここでは、まずは「RESASとは」を初歩から学び、わかりやすく解説しますので、年代関係なくかかわれます。

また、先進地研修や実際に街頭に出て「Wantカード」に書いてもらったり、生の市民の声を集約しRESASと連動・分析することにより「新たな魅力あるまちづくり」を提言⇒発表の場⇒ゴールまでいく実践型授業となっています。

ふるってご参加ください。



科目名	工学概論		
科目番号	A-14	開設大学名	長崎総合科学大学
開講場所	長崎総合科学大学グリーンヒルキャンパス	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成29年10月5日(木)～ ～平成30年2月8日(木)	曜日	木曜日
		時限	5時限目
開講時間	16時30分～18時00分(90分) 「毎週木曜日」	授業定員	90人(うち単位互換定員30人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	必要に応じてプリント等の資料を配布	試験・評価方法	受講態度・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 10月 5日	造船工学概論 (1)構造強度と設計	野瀬 幹夫 (工学部工学科教授)
② 10月12日	造船工学概論 (2)CAD技術	松岡 和彦 (工学部工学科准教授)
③ 10月19日	造船工学概論 (3)船の抵抗推進について	林田 滋 (工学部工学科教授)
④ 10月26日	機械工学概論 (1)機械工学の役割(生産システム技術、機械設計)	黒田 勝彦 (工学部工学科教授)
⑤ 11月 9日	機械工学概論 (2)エネルギーについて	岡田 公一 (工学部工学科准教授)
⑥ 11月16日	機械工学概論 (3)エコカーの世界	平子 廉 (工学部工学科教授)
⑦ 11月30日	電気電子工学概論 (1)工学の基本的事項について	松井 信正 (工学部工学科教授)
⑧ 12月 7日	電気電子工学概論 (2)集積電子回路技術と組み込みシステム	田中 義人 (工学部工学科教授)
⑨ 12月14日	電気電子工学概論 (3)コンピュータのハードウェアとソフトウェア	大山 健 (工学部工学科教授)
⑩ 12月21日	医療工学概論 (1)医薬品が市販されるまでの研究	本村 政勝 (工学部工学科教授)
⑪ 1月11日	医療工学概論 (2)医療機器に関する医工連携	川添 薫 (工学部工学科教授)
⑫ 1月18日	医療工学概論 (3)臨床検査と医用工学	水野 裕志 (工学部工学科講師)
⑬ 1月25日	建築学概論 (1)サステナブル・ビルディング	田中 俊彦 (工学部工学科教授)
⑭ 2月 1日	建築学概論 (2)建物構造の設計概要	薄 達哉 (工学部工学科教授)
⑮ 2月 8日	建築学概論 (3)歴史と文化をいかしたまちづくり	山田由香里 (工学部工学科教授)

連絡先	長崎総合科学大学 教務課 TEL 095-838-5125 FAX 095-839-0584
(科目内容)	現代の工学は細分化、専門化が進み、それぞれの全体像を見ることが困難になってきています。この講義では工学を志す学生に、工学全般、材料工学、船舶工学、機械工学、電気工学、情報工学、建築学、土木工学、医療工学に関する基本的な事項について、また最新の話題について専任教員のオムニバス形式で行います。

学生の感想・
教員のコメント等

工学分野の船舶部門、機械部門、電気電子工学部門、医療工学部門、建築学部門の先端的な話題も含め本学の専任教員により教授いたします。
工学について興味をお持ちの方は受講をお勧めします。

